

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：こまつな保育園	種別：地域型保育事業（居宅訪問型保育事業除く）
代表者氏名：小山 正武	定員（利用人数）： 9名（9名）
所在地：〒221-0054 横浜市神奈川区山内町1番地	
TEL：045-620-8111	
ホームページ：	

【施設・事業所の概要】

開設年月日 2015年9月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：横浜中央市場保育園株式会社		
職員数	常勤職員： 5名	非常勤職員： 4名
専門職員	保育士 4名	管理栄養士 1名
施設・設備の概要	(居室数) 保育室1室、事務室1室、厨房1室、職員休憩室、予備室	(設備等) 横浜中央卸売市場内のセンタービル内にある保育園で、横浜市管理の建物ということもあるため、防災、安全、耐震、清掃、点検、警備などの管理が適切に行われています。 同建物内の別階に屋内遊戯場があり、園庭として使用しています。園庭開放として地域の育児支援の場としても利用しています。保育園の株主の業務の関係から、保育園の調理室ではアルカリイオン水が使用できるようになっています。

- こまつな保育園は、京浜急行神奈川駅から徒歩15分、または、横浜駅から市営バスで7分、中央市場前下車徒歩1分のところにある、横浜中央卸売市場内センタービルの2階にあります。
- 保育園は、2015年（平成27年）9月に横浜市の認可を受けて開園しました。横浜中央市場保育園株式会社が運営受託した小規模型事業所内保育事業で、園児の定員は9名（0歳児～2歳児クラス）うち3名（0歳1名、1・2歳2名）は事業所枠、他は地域枠として受け、保育をしています。
- ビルの5階は体育館で保育園の室内遊技場として利用しています。また、園庭開放として地域の子育て支援の場としても利用しています。
- センタービル前の道路を挟んだ向かいには卸売市場で、散歩に出かけることもあります。また、コットンハーバーみらいロードを通り公園や港の方へ散歩に出ることもあります。
- 保育園の開所時間は、月曜日から土曜日、7時から18時までです。

③理念・基本方針

保育理念

事業所内保育所として、市場で働く保護者の子育て支援とともに地域の子育てを支援します。

保育目標

- 市場ならではの食育を通じ心身共に健やかな子を育てます。
- 安心安全な食材を活用し、親子の食育教室を開催し、市場の活性化と地域貢献に取り組みます。
- 家庭的な雰囲気の中で人格形成の芽生えを大切に育てます。

保育方針

3歳児未満時施設として大切な時期を十分な愛情と環境の中で育み保護者とともに子どもの成長の喜びを共有する。

④施設・事業所の特徴的な取組

「食育活動」

市場の事業所内保育園であるということから食育活動に力を入れています。保育資格保持者の大半は調理師免許も取得しています。食育活動では、旬や季節を大切に、五感に訴える0歳児からの食育活動を行っています。園内では、食育会議を月に2回以上設け、個々の家庭の状況や発達状況を考慮しての食育に努めています。

「育児支援」

保育園が所在するポートサイド地区には横浜市が育児支援として行っている親と子のつどいの広場がないため、地域の方々にはコットンハーバー地区を利用しています。保育園も地区の保護者の方々の力になることを目指し、在籍児童の保護者の方々と地域の保護者の方々が集うことのできる場所づくりを行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年10月20日（契約日）～2024年4月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2018年度）

⑥総評

◆特長や今後期待される点

【特長】

●職員、市場の方々に見守られ子どもたちはのびのびと生活しています

0歳児クラスから2歳児クラスまでの、成長が著しく大切な時期の子どもが生活しています。職員は、会議や日々のミーティングで、子どもの個性や家庭状況、発達状況等を共有し個々に応じた支援をしています。子どもが自分の気持ちを伝えられるよう寄り添い、子どもの言葉や表情、しぐさ、視線などから子どもの気持ちを理解し受け止めています。また、笑顔で分かりやすい肯定的な言葉がけをしたり、小さなことでもできたことは褒めて認めて関わっています。子どもたちは、室内でままごとや手作り電車でゆったりと遊んだり、5階の遊技場で滑り台やコンビカーで体を動かして遊んだり、市場内やコットンハーバー方面へ散歩に出かけたりと静と動のメリハリのある遊びを楽しんでいます。子どもたちは、地域の「こまつなひろば」参加者と一緒に遊び、ハロウィン、クリスマス会などの行事では市場の会社の方たちと交流しています。様々な食材に触れて身近に感じるなど、市場内だからこぞできる経験をし、子どもたちは、職員、市場の方々に優しく見守られ、のびのびと生活しています。

●市場の事業所内保育園であることから市場ならではの食育活動に取り組んでいます

保育目標に「市場ならではの食育を通じ心身共に健やかな子を育てます」と明記し、子どもが様々な経験を通し食について興味や関心を持ち楽しく食事をするをねらいとして取り組んでいます。新鮮で安心安全な食材を活用し、自園で調理した和食、魚メニューの多い給食を提供しています。また、市場内で魚等の観察や野菜の収穫体験、豆の莢むき、キノコさき等食材に触れて五感で感じ親しんでいます。保育士は子どもの喫食状況、発達状況、咀嚼力、嗜好等把握して共有し、子どもが、食への関心、食べることの喜び、達成感、意欲を持てるよう前向きな言葉がけで関わっています。様々な取り組みは食育計画をもとに食育会議を年間20回以上開き、子ども一人ひとりに合った内容になるよう確認しています。毎月、保護者に給食だよりと献立表を配布し園の取り組みを伝えています。保護者からの要望があればレシピの提供や管理栄養士が相談にのったりするなど支援にも取り組んでいます。これらは、子育て支援に参加した地域の子育て中の方や妊婦にも同様に対応しています。

●保護者が安心して子育てができるよう寄り添った姿勢で支援し、信頼関係を築いています

保育方針に「3歳児未満時施設として大切な時期を十分な愛情と環境の中で育み保護者と共に子どもの成長の喜びを共有する」と掲げて保育の姿勢を明確にしています。毎日、子どもの姿を連絡帳でやりとりしているほか、送迎時には楽しいエピソードと共に口頭でも伝え子どもの成長を感じられるようにしています。年1回の懇談会では保育の意図や目的、園での様子を伝え保護者が園の保育への理解を深められるようにしています。保育参観や保育参加は希望により随時受け入れています。年1回の個人面談を実施するほか、相談事があれば随時受けており、急ぎの場合は電話やメールでも対応しています。行事予定表を年度始めに配布し、大きな行事はチラシも掲示し案内しています。本社のクリスマスコンサートでは保護者が演奏するなどの協力も得ています。保護者は何でも相談でき、家族のような関わりの中で過ごしたあと、卒園後も相談や遊びに来園する姿があります。園や職員に対する信頼の大きさはアンケート結果にも表れています。

【今後に期待される点】

●中長期の事業計画、単年度事業計画を作成し今後の方向性を明確化して取り組むことが期待されます

中長期計画は策定していませんが、これまでは、開園時に作成された事業計画を参考に、口頭で伝えて運営してきました。職員や保護者が安心して連携して取り組めるよう、今後、中長期計画、それに基づく単年度事業計画を作成して保育園の進むべき方向性を明確にし、職員や保護者に示していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

全国初の卸売市場内の事業所内保育所として開園し9年目を迎えます。前回の評価から5年経過し、その間、コロナの流行や職員達の産休や育休で保育運営は厳しい局面が多くありました。

評価に当たり当園の資料や記録の提出があり、それらを見直し準備する中で、数々の局面を乗り越えてくることが出来たのは保護者の方々と市場の方々の支えがあったことを痛感しました。定員9名の小さな当園はコロナで増えた膨大な事務作業や対応を行っていくことは尋常ではありませんでした。保護者の皆様一人一人の支えがあり、市場の方々の励ましがあっただけで手厚い保育を保つことができました。

私達は、在園児、卒園児とそのご兄弟、地域のお子様と保護者の皆様、市場の方々との関わりをととても大切にしています。成長の喜びを共感できる拠り所になりたいと思っています。その思いを成し遂げるための取り組みを評価していただき励みとなりました。また、その思いを達成するための「食育活動」「育児支援」「地域交流」など日々の取り組みを今後も大切に行っていきたいと感じました。

評価の指摘にあったように、私達の思いを持続させるための計画を明確にしていきたいと思います。

そして何より、お忙しい中、保護者アンケートにお応え頂き、暖かいお言葉をくださった保護者の皆様に心から感謝いたします。

こまつな保育園

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり